

公益財団法人 8020 推進財団 令和 5 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録										
1. 事業名：	歯科口腔保健の普及啓発事業・歯の喪失防止に関する調査事業									
2. 申請者名：	一般社団法人福岡市歯科医師会 会長 神田 晋爾									
3. 実施組織：	一般社団法人福岡市歯科医師会									
4. 事業の概要	<p>健康で質の高い生活を営む上で、定期的な歯科健診や歯科診療の受診を通じて口腔の健康を保持・増進することは、重要な役割を果たしている。</p> <p>平成 28 年の国民健康・栄養調査において、「過去 1 年間に歯科健診を受診した者」の割合は 52.9%であり、市町村が実施する歯周疾患検診の受診率は約 5%（推計値）に留まっている。これら歯科健診（検診）受診率の低さの要因として、健診時間の長さや、患者が客観的に納得しづらいという問題点が挙げられており、実施する歯科医師・歯科衛生士の不在や時間的負担も課題となっている。一般的に歯周病は自覚症状のないまま進行するため、定期的な検査による早期発見が重要とされているが、先述のとおり、早期発見の機会を得られていないのが現状である。</p> <p>福岡市歯科医師会では、6 月に行われる本会最大のイベント「福岡市民の健康を歯と口から守る集い」と 11 月に行われる「糖尿病教室」を利用して、短時間で歯周疾患のリスク評価が可能なスクリーニングツール歯周病原因菌酵素測定試薬（簡易検査キット：アドチェック）を用いた歯周疾患簡易検診を行う。</p> <p>市内でのイベント等において、歯周疾患リスクを簡易に判別する事で、歯周病予防の「見える化」が容易で、市民の自発的な健康づくりを促すこととなり、8020 運動の達成をさらに推進することが期待される。</p>									
5. 事業の内容：	<p>広く地域住民と接する事のできるイベント（福岡市民の健康を歯と口から守る集い・糖尿病教室）を利用して、歯周疾患のリスク評価が可能な簡易検査キット（アドチェック）を用いた検診を行った。検査結果をもとに、市民の口腔内への関心を高めるとともに、歯科医院への受診による適切な口腔ケア及び治療への能動的なモチベーションの向上に繋がった。また、イベントで簡易検査を受けた方で会員診療所に来院された方に対して歯周精密検査を行い、リスク評価と実際の歯周病検査結果を比較した。</p> <p>①福岡市民の健康を歯と口から守る集い</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R. 5. 6. 4. (日)</td> <td style="width: 65%;">会場 1：ソラリアプラザゼファ（福岡市中央区天神）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">：119 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>会場 2：福岡県歯科医師会館（福岡市中央区大名）</td> <td style="text-align: right;">：111 名</td> </tr> </table> <p>②福岡市民糖尿病教室</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R. 5. 11. 23. (木・祝)</td> <td style="width: 65%;">福岡市健康づくりサポートセンター（あいれふ）（福岡市中央区舞鶴）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">：18 名</td> </tr> </table> <p>合計：248 名</p> <p style="text-align: right;">（*後日、診療所で精密検査を受診された方：52 名）</p>	R. 5. 6. 4. (日)	会場 1：ソラリアプラザゼファ（福岡市中央区天神）	：119 名		会場 2：福岡県歯科医師会館（福岡市中央区大名）	：111 名	R. 5. 11. 23. (木・祝)	福岡市健康づくりサポートセンター（あいれふ）（福岡市中央区舞鶴）	：18 名
R. 5. 6. 4. (日)	会場 1：ソラリアプラザゼファ（福岡市中央区天神）	：119 名								
	会場 2：福岡県歯科医師会館（福岡市中央区大名）	：111 名								
R. 5. 11. 23. (木・祝)	福岡市健康づくりサポートセンター（あいれふ）（福岡市中央区舞鶴）	：18 名								
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>6 月に開催した「福岡市民の健康を歯と口から守る集い」11 月に開催された「福岡市民糖尿病教室」双方に於いて、アドチェックによる歯周病簡易検査は高い関心を得られた。元々糖尿病患者は歯周病に対して関心が高いと推察されるが、来場者の年齢や歯科への関心度がバラバラな市民対象のイベントに於いても、他のブースに比べて最も集客が多く行列が出来るほどで、福岡市民の口腔（歯周病）への関心の高さを実感した。検査後の結果説明では今後の口腔健康管理の方法や定期的な歯科受診の必要性についてお話したが、高齢者から夫婦、お子さん連れの家族まで皆さん熱心に耳を傾けられ、質問も多かった。検査結果に関しては A～B の比較的良好な判定が多く、そのため精密検査のための歯科医院受診数が少なく十分なサンプルは得られなかったが、4mm 以上の歯周ポケットを有する患者は A: 77%、B: 96%、C: 1100%と、差は認められた。ただし「口腔内はきれいです」と判定されている A 判定に於いても 77%の方に 4mm 以上の歯周ポケットが認められたため、検査の整合性に関しては今後も検証が必要であると思われる。</p> <p>今回アドチェックによる簡易検査と結果説明を行った結果、84%の方が「また受けたい」という回答であったため、今後も市内で行われるイベント等で積極的に本検査を行い、その後の歯科医院受診に繋げ、データの集積を行いつつ、8020 運動の達成をさらに推進していきたいと考える。</p>									